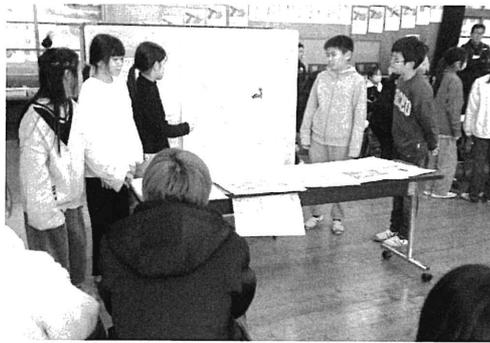




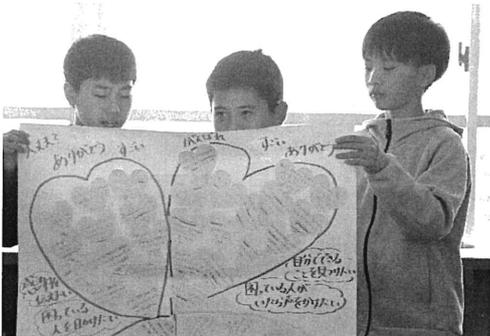
3年生は、地域の方に教えてもらいながら、しめ縄作りの学習をしました。真弧(まこも)をねじって重ねながら縄をなうのは難しかったですが、自分たちで力を合わせながら完成させることができました。



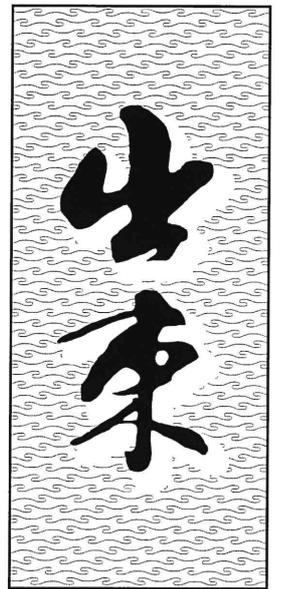
今年度から、探究的な学びの成果を発表する場として「学習成果発表会」を行っています。自ら問いを立て、情報を収集したり分析したりしながら調べて活用するなど、自分で考えるプロセスを重視した学習です。



「なかよし班遊び」では、新聞ジャンケンやいす取りゲーム、フルーツバスケット、鬼ごっこなど、いろいろな遊びをしました。子どもたちの交流の輪が広がり、6年生、在校生それぞれの良い思い出となりました。



1月22日(木)に人権集会をしました。「おもいやりのある言葉をあつめよう」のテーマで、うれしかったエピソードなどと一緒に発表をしました。



第 2 1 5 号  
発 行  
出東小学校  
出東小学校 P T A

### 「一歩」が未来をつくっていく

校長 秦 康人

六年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。六年間、皆さんはこの学び舎で共に笑い、悩み、一歩ずつ歩んできました。中学校という新しい世界へ踏み出す皆さんに、私が大切にしてほしい言葉、それは「挑戦」です。

思い出作り教室に来ていただいた路上詩人こーたさんに高学年のために書いていただいた言葉は「挑戦」の二文字です。この時にこーたさんは、「できるかできないかじゃない。やるかやらないかだ」と仰って、新しいことに挑戦することの大切さを語ってくださいました。私たちは新しいことを始めようとする時、どうしても「失敗したらどうしよう」「自分にできるだろうか」と不安になります。しかし、こーたさんは、結果がどうなるかよりも、まず「自分の意志で動くこと」の大切さを教えてくださいました。

大リーグの大谷翔平選手も、誰もやったことがない「二刀流」に挑戦したとき、周りの声ではなく自分の「やってみよう」という気持ちを信じました。また、発明王エジソンも、失敗を「成功しない方法を見つけただけ」と捉えて挑戦を止めませんでした。挑戦とは、必ずしも大きなことである必要はありません。例えば、昨日より少しだけ勇気を出して挨拶をしてみる、苦手な一問に最後まで向き合ってみる、そんな日々の「一歩」の積み重ねが、皆さんの自信へと変わっていきます。

これから先、迷うことがあつたら、こーたさんの言葉を思い出してください。大切なのは、上手くやることではなく、心を込めて一歩を踏み出すことです。皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。自分の「やりたい」という気持ちに正直に、恐れず挑戦し続けてください。皆さんの新しい門出を、心から応援しています。



### 一つの学級で歩んだ一年

六年担任 梶谷 美湖

六年生で一つの学級としてスタートした子どもたちにとって、これまでとは違う人間関係や学級の在り方に戸惑いながらの出発でした。人数が増えたことで考え方や感じ方の違いが表面化し、衝突したり、思うようにいかなかったりする場面も少なくありませんでした。話し合いがうまく進まなかったり、互いの思いがすれ違ったりすることもあり、決して順調な一年とは言えなかったと思います。

しかし、その一つ一つの出来事に向き合う中で、子どもたちは確実に成長していききました。自分の気持ちを言葉にすることの難しさ、相手の立場に立つて考えることの大切さ、そして集団の中で自分が果たす役割について、日々の生活や行事を通して学んでいきました。うまくいかなかった経験があつたからこそ、次はどうすればよいのかを考え、少しずつ行動を変えていく姿が見られるようになりました。

修学旅行や学校行事では、一人一人が自分ができることを意識し、仲間と協力しようとする姿が多く見られました。誰かのために声をかけたり、支え合ったりする場面が増えたことに、子どもたちの成長を強く感じました。

この一年で身につけた経験や学びは、これから先の中学校生活、そしてその先の人生において、きっと大きな支えとなるはずだと思います。

いつかどこかで、みなさんの笑顔に出会える日を楽しみにしています。私たちはいつまでも応援しています。



将来の夢について

安食 奏良

ぼくは将来の夢をまだ決めていません。だから成人するまでに夢を決めて、その夢に向かってがんばっていききたいと思います。中学校ではまず勉強をがんばります。

ルールの大切さ

足立 瞬

学校で学んだ「ろうかを走ったら危ない」ということから、信号で止まらないといけない理由もわかりました。ルールはみんなの安全を守るためにあり、これからもルールを守っていききたいと思います。

友だちがいるから

飯塚 駿

小学校の六年間でいろいろな行事や出来事があったけれど、それを乗り越えたり楽しんだりできたのは、友だちがいたからです。これからは友だちを大切にしたいと思います。

私の夢

飯塚 美琴

私の夢は美容師になって店を出すことです。私は髪を結んだり、ヘアセットをしたりすることが大好きだからです。夢をかなえるために、お金をためて、それ以上に勉強をしていきます。

修学旅行で学んだこと

石原 和佳

私は修学旅行の係で、生活・食事係の担当で、バスの中でいつ・何をするかしっかりと確認していたので、忘れずに仕事をする事ができました。同じ係の人と協力したおかげで、できたこともあったので友だちと助け合っていました。とは大切だと改めて思いました。

小学校生活での学び

伊藤 大翔

ぼくが小学校生活で学んだことは、「見通しをもつこと」と「時間を守ること」の大切さです。修学旅行で、時間が守れなかったことがありました。これからは、何事にも間に合うように見通しをもち、時間を守りたいと思います。

みんなへの感謝

伊藤 真優

私はこの六年間でたくさんの方の感謝を学びました。親や先生、友だちなどいろいろな人に助けてもらいました。だから私も困っている人がいたら助けたいと思いました。

修学旅行で学んだこと

内田 心晴

広島で学んだことは原爆の恐ろしさと、平和の大切さです。そのためにながめたいことは、学校生活の中でいじめのないクラスにすることです。

発言の大切さ

尾原 隼

ぼくは、発言の大切さを学びました。六年生になってから発言する機会がたくさん増えました。前の六年生の人は、発言をするときスラスラと言っていました。ぼくは今まで発言してこなかったから中学校では積極的に発言していきたいです。

私の宝物

加納 梨世

私は、この六年間でたくさんの宝物を見つけることができました。友だちとの絆、勉強、運動、協力することの大切さなど、たくさん学びがありました。中学校でも今までの学びを生かして、がんばりたいです。

小学校でぼくが学んだこと

岸 玲良

ぼくが小学校で学んだことは、努力です。陸上大会に向けて、努力を重ね、本番では百メートルやリレーをあきらめず一生懸命走りきることができました。これから努力することを続けていきたいです。

たくさんの方への感謝

小林 央芽

野球をしていて肩をこわしてしまったときに、家の人は毎回整形外科に連れていってくれました。苦しいこともあったけど、周りの人の支えに気づきました。中学校でもがんばりたいです。

友だちの大切さ

坂部 慶太

ぼくは友だちの大切さを学びました。友だちといるときは全然さびしくなく、ずっと楽しい雰囲気が続きます。そして友だちは、時には悩み事や困ったことを相談できる存在です。ぼくはこのように日々が続いてほしいです。

将来の夢

高島 小都華

私の将来の夢は美容師になることです。理由はいろいろな人の髪を切って喜んでもらえる仕事だからです。そのために勉強を今から全力で取り組み、いい美容師になりたいです。

六年間で学んだこと

高橋 柚乃

私は小学校生活で友だちの大切さを学びました。友だち関係は難しいものだと感じ、考え込むことが多い時期もありました。友だちや周りの人のおかげで乗り越えられました。支えてくれた人に感謝し、中学校でもがんばりたいです。

ぼくの将来の夢

玉木 綾人

ぼくの将来の夢はプロサッカー選手になることです。サッカーを年長からずっとやっていて、いつまでも続けたいからです。そのためにも中学校でもサッカーをがんばりたいです。

将来の夢

土江 海翔

ぼくの将来の夢は、海に関わる仕事です。なぜなら海が好きだし、魚をたくさん食べたいと思ったからです。その仕事につくために、海に関する勉強をがんばりたいと思います。

習い事で学んだこと

永見 侑愛

習い事で学んだことは、最後までやりきることです。ダンスはみんなの前で発表するので緊張することがあるけど、だんだんと慣れていき最後まで楽しく取り組むことができるようになりました。中学校でも、緊張する場面があると思うけれど最後までやりきりたいです。

継続することは大切

錦織 さゆり

私の将来の夢は、イラストレーターになることです。絵を描くことが好きになった理由は、成長していく自分の絵を見るのが好きだからです。これからは、たくさん努力をして夢をかなえたいです。

中学校に向けて

錦織 凜

小学校では友だちの大切さについてたくさん学ぶことができてきました。友だちは困っているとき、相談に乗ってくれたり楽しい思い出と一緒に過ごってくれたりしました。だから中学校でも友だちを大切にしていきたいし、人間関係も良いものになるようにがんばりたいです。

将来の夢

錦織 颯

ぼくの将来の夢は、ゲームを作る仕事につくことです。ぼくは、ゲームをするのが好きです。だから、好きなゲームを作る仕事についたら楽しいと思うからです。ぼくが作ったゲームでみんなに楽しんでもらえたらうれしいです。

友達と協力することの大切さ

西村 咲希

運動会の準備はすごく大変だったけれど、休み時間にみんな練習したり、手伝ったりして小学校最後の楽しい運動会になってよかったです。中学校でもみんな協力して、三年間楽しい学校生活を送りたいです。

命の大切さ

樋野 琉亮

ぼくは修学旅行に行つて平和記念公園へ行きました。そこでは、原爆の恐ろしさを学びました。今ある生活や一秒一秒を大切に生きて過ごしたいと思いました。

小学校で学んだこと

福島 陸仁

ぼくが小学校で学んだことは友だちを大切にすることと、時間を守ることです。理由は、一緒に楽しんだり助けてもらったからです。修学旅行では時間を守ることができなかったので、中学校では失敗しないように行動したいです。

出東小の四つの伝統

福島 凜

四つの伝統は、靴そろえ、無言そうじ、先手あいさつ、ろうか歩行です。小学校に入学した時一番最初に教えられました。それを受け継ぐ大切さも分かりました。中学校でも礼儀正しく四つの伝統を忘れずに過ごしたいです。

小学校で学んだこと

福田 花

私は六年間の小学校生活で、四つの伝統を学びました。前にろうかを走ってしまい、角で人にぶつかりそうになってしまったことがあります。だから四つの伝統の「廊下歩行」の大切さに気づくことができました。

協力は大切

堀内 柚乃

協力することではか得られないものがあると思います。私は運動会の全校つなぎで、色の人と協力したから大きな力が生まれたと思います。だから、苦しい時でもがんばろうと思うことができました。協力は自分のためにもみんなのためにも大切だと思います。

将来の夢

三島 善哉

ぼくの将来の夢は、アイスホッケーの選手になることです。ぼくのポジションはキーパーです。日本代表になってオリンピックに出場したいです。そのために、自主練習に進んで取り組み、夢をかなえ、ゴールを守りたいです。

小学校で学んだこと

三原 早人

小学校で、協力することを学びました。六年生では特に、運動会や修学旅行で友だちと協力することができました。この経験を生かして中学生でもいろいろな人とコミュニケーションをとっていききたいです。

六年間の思い出

宮廻 燈矢

ぼくの将来の夢はプロサッカー選手になることです。今はFC斐川というチームでサッカーをしています。中学に入ってから努力をしてがんばりたいです。

思いやりの言葉

持田 仁香

私は、小学校生活を通して、思いやりの言葉について考えるようになりました。六年生になって友だち関係やあだ名について人を傷つけるようなことが起きてしまいました。中学、高校と成長してもこの出来事を忘れず、思いやりを大切にしたいです。

修学旅行で学んだこと

持田 望結

私が修学旅行で学んだことは、平和の大切さと戦争のおそろしさです。私は、戦争の時代に生まれていないから関係のないことだと思っていました。しかし、戦争があったからこそ、今の生活があると思います。今の生活を大切にしたいと思います。

大切な友だちとの思い出

湯原 愛葵

友だちとの思い出は陸上練習です。陸上練習では、リレーの選手でした。リレーの練習はバトンパスがメインで、友だちとの協力が大切だと思いました。中学校でも友だちと協力しながらがんばりたいです。

未来の自分

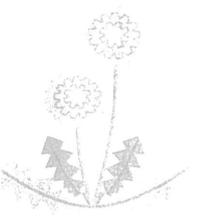
米村 優里

私の将来の夢は、福祉関係の仕事につくことです。五年生の時に出東ララに行ったときに、おばあさん、おじいさんの喜ぶ姿を見て、また見たいと思ったからです。そのためにもこれからもっと勉強をがんばりたいです。

かなえないこと

渡部 奏夢

ぼくは一年生から四年生までなりたいものは大工と考えていました。しかし五年生になってからは、ぼくの祖母の職業である、散髪屋になりたいと思うようになりました。そのためには、資格が必要なのでこれからもがんばりたいです。



# ありがとう六年生

一年 いしはら かすみ

きゆうしよくをかえすとき、おもたかごをもつてくれました。うれしかったです。

うんどうかいのつなひきのとき、「いっしょにがんばろうね。」といっけてうれしかったです。

一年 おおもり ゆづき

うんどうかいのリレーのとき、六年生さんがいっばいおうえんしてくれてうれしかったです。

とう校のとき、六年生があるくスピードをあわせてくれてうれしかったです。

二年 山本 りおな

とう校のとき、後ろを見て、私たちのためにちよつとペースをおとしてくれて、やさしいなと思いました。ころんだり、すべったりしたときも、「だいじょうぶ？」とやさしく聞いてくれて、うれしい気持ちになりました。分団会のときも、何を書くか分からなかつたときに、私が困っていることに気づいてくれて、やさしく教えてくださいました。六年生にたくさんかわいがってもらって、うれしかったです。

三年 森脇 詩

三年間、六年生さんには、そうじや運動会などで、いろいろなことをやさしく教えてもらいました。

いつもわたしたちのために委員会の仕事をしてくださって、感しゃしています。とくに放送委員会はリクエスト曲やたん生日しようかいなどをして、給食の時間を楽しくしてくださいました。

六年生さんは、一から五年生の手本となっておられたので、わたしも見習いたいです。そんな六年生になりたいです。

四年 永見 愛莉

六年生との運動会が一番楽しかったです。みんなと協力するところができてうれしかったです。とても心に残る思い出になりました。

クラブ活動も楽しかったです。けん玉クラブで技を競い合ったり、練習をしたりしました。六年生はとっても上手でした。私は、六年生を目標にがんばりました。

たくさん楽しい思い出を作ることができました。今まで私たちが引っ張ってくれて、ありがとうございました。

五年 和泉 道矢

六年生さん、この一年間、委員会や運動会などで支えてくださって、ありがとうございました。

放送委員会では、とまどつて放送のちゆうで止まつてしまつたときに、同じ当番の六年生さんが後ろからサポートしてくださつてうれしかったです。

運動会では、ゴーゴータイムの練習のときに、六年生さんがやさしく教えてくださったおかげで、スローガンや振り付けなどを早く覚えて取り組むことができました。

来年度は、ぼくたちが六年生の立場になるので、六年生さんの姿をお手本にして、がんばりたいです。



## 三学期の取組

三学期にがんばったこと

一年 いのうえ あさひ

わたしは、三学期になわとびがとてはやくとべるようになりました。三十びようはやまわしとびで、八十かいとべるようになりました。ともだちに、「すごいね。」といつてもらえてうれしかったです。もつととべるようになりたいです。



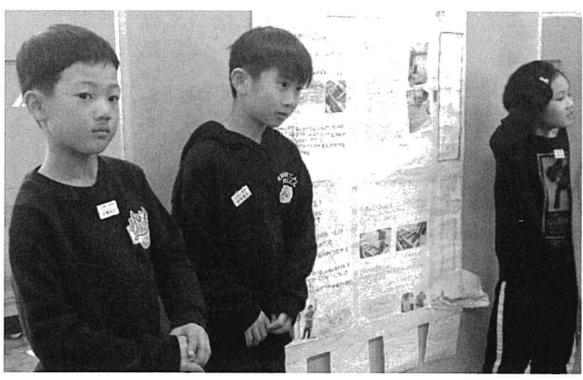
新聞づくりをしたよ

二年 飯塚 ひろき

ぼくは、またんけんてしじみりようの見学に行つて学んだこと

をチームで新聞にまとめました。

はじめはしじみりようにきょうみがなかつたけど、じよれんやかじぼう、こうかいとうをしつて、きょうみがわきました。これから、かんしゃしてしじみを食べたいです。



しめなわ作り

三年 金築 和沙

にしこおりさんに来てもらい、しめなわ作りをちようせんしました。

きりふきを使つたり、三人できょう力して作つたりするなんて

知りませんでした。しめなわ作りがこんなに大へんだとは思っていませんでした。今年全員が一つずつ作ることができました。すぐ持って帰ることができてうれしかったです。

にしこおりさんのおかげで出雲大社のことがよくわかったし、しめなわの作り方がよくわかりました。



出東ララ交流

四年 足立 春翔

交流本番は、ちよつときんちようしたけど、みんなで協力していい交流会になりました。

おじいさんもおばあさんも明るく元気な方ばかりでした。ぼくが

おじいさんになったら、出東ララのおじいさんのように明るく元気でいたいと思いました。

初めての交流会（出東ララ）

四年 西 貫汰

ぼくは、本番でまちがえずにちゃんと自分の役目を果たすことができました。

おじいさんやおばあさんの笑顔をたくさん見ることができてうれしかったです。みんなと協力する大切さを学ぶことができました。



宍道湖を未来につなごう

五年 日野 結太

宍道湖でサバニ体験やシジミ漁師さんの仕事の見学、グリーン

パークの体験などいろいろな体験をしました。

宍道湖は、前に自転車で行ってみたことがあったけれど、その時はゴミは気にならなかったし、湖の水の色も見ていませんでした。

しかし、学習成果発表会に向けて、ゴミのことを調べてみると、宍道湖には人工物と自然物のゴミがあつて、人工物によって魚が死んでしまうこともあると知りました。

これからも、ポイ捨てをしないようにしようと思いました。また、ゴミ拾いをするのが宍道湖の環境を守ることに繋がると分かりました。次に宍道湖に行ったときには、宍道湖の状態をよく見てみたいです。



保健室より

養護教諭 石倉 綾美

お子さんの視力は、どのようなようですか？

今年度、文部科学省から、児童生徒の健康課題として「近視」が重要視され、特に視力検査結果におけるB判定（0.7〜1.0未満）及び「近視」と診断されることの増加について報告されました。

本校の児童も例外ではなく、令和五年から三年間の視力検査の結果をみると視力低下の児童が約十六%（二七人）も増加していました。その中でも約十%がB判定で、診断結果の半数近くを「近視性乱視」が占めています。

その結果を踏まえ、出東小学校では、今年度、目の体操をしたり、正しい姿勢や電子メディアとの付き合い方を考えることを学習に取り入れたりしてきました。これらの学習は、すぐに効果が出ることは少なく、日々の生活が大切になってきます。そのため、今後も学校と家庭が連携した取組をしていきたいと考えております。

お子様自身が自分で目を守っていく力が育つように、今後も出東小の保健教育にご理解ご協力いただきますようお願いいたします。



今年度の児童会の取組

ぐんぐん伸びる出東っ子



●保体・美化委員会

保体・美化委員会では、「みんなが体を動かし、楽しく元気な出東小学校にすること」「全校のみなさんがきれいな学校で気持ちよく生活できること」を目標に活動を行いました。常時活動として毎日、給食準備の手伝いと、花壇の水やりを行いました。また、常時活動に加えて、「全校草取り」「そうじ用具の点検」「そうじがんばりウィーク」「給食ビンゴ」「全校遊び」等の特別活動も計画・実施しました。



●ふれあい・生活委員会

わたしたちふれあい・生活委員

会は全校のみんなが仲良く、気持ちよく生活できるように様々な活動に取り組みました。

主な取組は、あいさつ運動と人権集会です。あいさつ運動では、「先手あいさつ・明るく大きな声であいさつすること」をめあてに取り組みました。人権集会では、「おもいやりのある言葉をあつめよう」をテーマに、言われてうれしい言葉について考えました。これからも、思いやりの気持ちを大切にして出東小学校をめざします。



●図書委員会

今年度の図書委員会は、「全校のみんなに楽しく本を読んでもら

おう」をめあてに活動しました。

一学期には「ぬりえ大会」「図書委員会による読み聞かせ」、二学期には「チャレンジ読書」や「スタンプラリー」、三学期には「おすすめのコナー作り」などのイベント活動を行いました。自分たちでイベントの企画や準備をするのは大変でしたが、たくさんの方が参加してくれるのを見ると、うれしい気持ちになりました。

これからも、図書委員会の活動をきっかけに、出東小のみんなが図書館に足を運ぶようになってほしいと思います。そして、たくさんの方に会い、お話の楽しさを知ってほしいと思います。



●放送委員会

私たち放送委員会は、前期「全校のみんなが楽しくなるような放送をしよう。」後期「全校のみ

ながわくわくするような聞きやすい放送をしよう。」をめあてにし、毎日の活動に取り組みました。

朝の放送やそうじの放送という常時活動以外にも、給食時の放送では「一年生紹介」「新しい先生紹介」「あなたはどう派」「六年生卒業インタビュー」などの特別企画を行いました。

また、今年度は新しい特別企画として「教室クイズ」「先生あてクイズ」を行いました。「教室クイズ」「先生あてクイズ」のヒントを考えることが大変でした。でも、全校のみんなに楽しんでもらえたのでよかったです。

常時活動は、時間におくられたり言いましがえたりして大変でした。しかし、曜日のみんなで協力し、委員会のめあてを意識して放送することができてよかったです。



入賞おめでとう

◎みんなで調べる宍道湖・中海流入河川調査

【国土交通省中国地方整備局長賞】

出東小学校五年生

◎税に関する絵はがきコンクール

【入選】六年

飯塚 駿

坂部 慶太

高橋 柚乃

西村 咲希

◎第五十八回島根県書初め展

【特選】四年

足立 春翔

【金賞】三年

伊藤 百叶

勝部 勇樹

古川 葵衣

四年

多々納 侑衣

西村 公花

六年

高橋 柚乃

西村 咲希

【銀賞】二十九名

【銅賞】七十九名

寄贈御礼

図書カード・プランターの花

更生保護女性会出東支部 様

大型モニター・スタンド

ワイヤレスアダプター

斐川ライオンズクラブ 様

あとがき

今年度、三十五名の六年生が卒業します。来年度は、三十三名の新入生が入学する予定です。今後とも、出東小学校の教育に温かいご支援ご協力をよろしくお願いたします。

令和八年三月 校報担当